

国道 11 号新居浜バイパス開通で渋滞緩和！！ ～開通直後の交通状況～

平成 24 年 2 月 25 日（土）に部分開通しました、新居浜バイパス（新居浜市本郷～萩生 2km）の開通直後の交通状況と道路利用者からの意見について報告します。

●交通量【平日】

新居浜バイパスは約 5,700（台／12 時間）

国道 11 号は約 15,800（台／12 時間）日と、

開通前と比較し、2,600（台／12 時間）減少

●渋滞状況【平日】

国道 11 号西之端交差点の最大渋滞長が減少。

490m（開通前）→330m（開通後） 160m 減少

●道路利用者からの利便性向上に関する意見

開通区間の時間短縮 約 3 分

国道 11 号（現道） 約 6 分（開通前） → 新居浜バイパス 約 3 分（開通後）

「現道の渋滞が減り、利用しやすくなった」、

「救急搬送の移動時間が短縮された」、

「バイパスは走りやすく運転の負担が軽減したと感じる」

などの意見を頂いています。

平成 24 年 4 月 10 日

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 Tel 089-972-0034（代表）

事業対策官 かわだ 川田 あきこ 昭彦（内線 208）

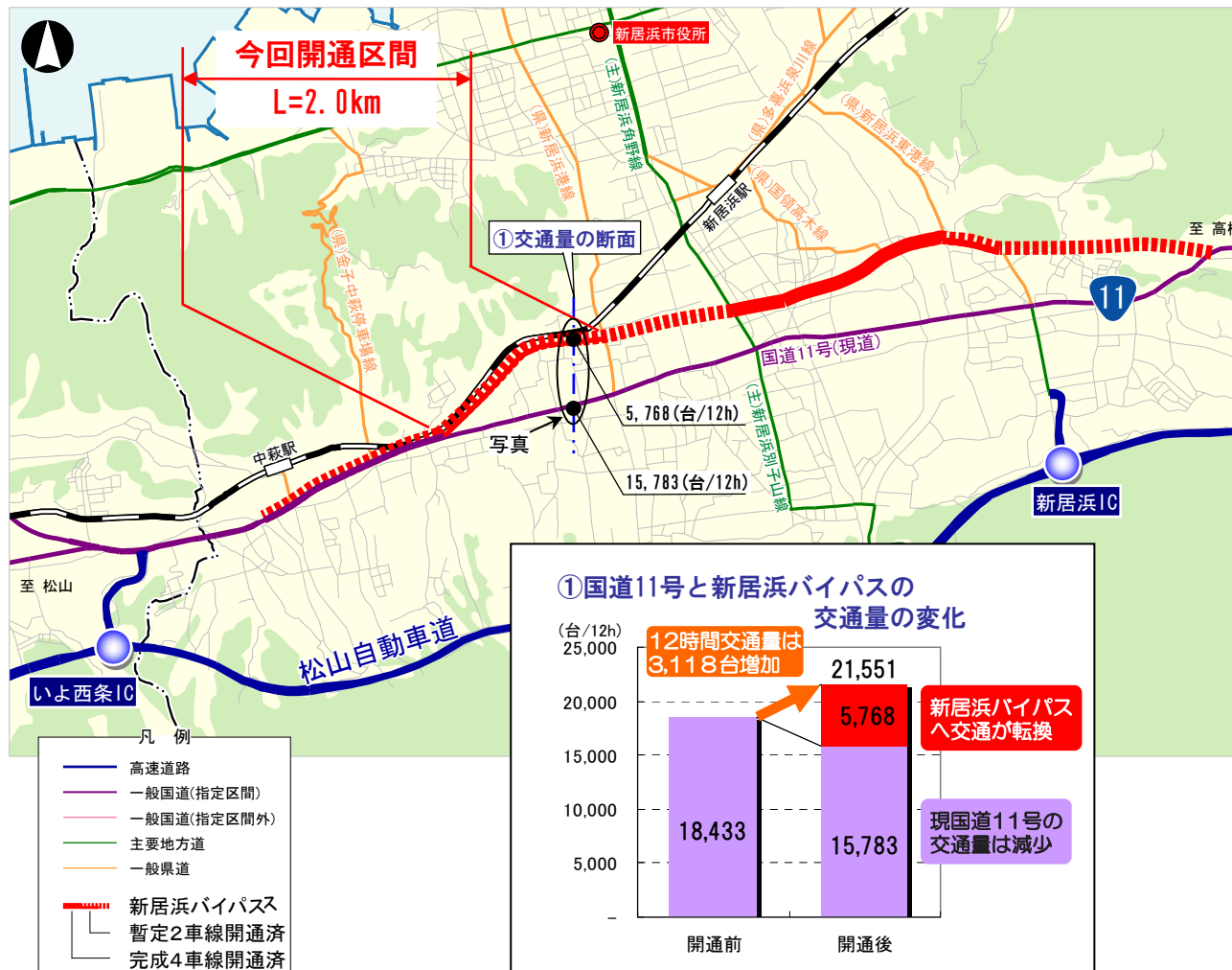
○調査第二課長 おかざき 岡崎 かずゆき 和幸（内線 451）

○主な問い合わせ先

新居浜バイパスの部分開通に伴う整備効果

1. 国道11号の交通が分散、現道交通量が減少し利便性が向上。

国道11号の交通量は、新居浜バイパスと交通が分散し、開通前の約18,400(台/12時間)から約15,800(台/12時間)と約2,600(台/12時間)減少しました。新居浜バイパスの交通量は約5,800(台/12時間)。



■開通前後の現国道11号の交通状況



バイパス開通前の現道の混雑状況



バイパス開通後の現道の状況

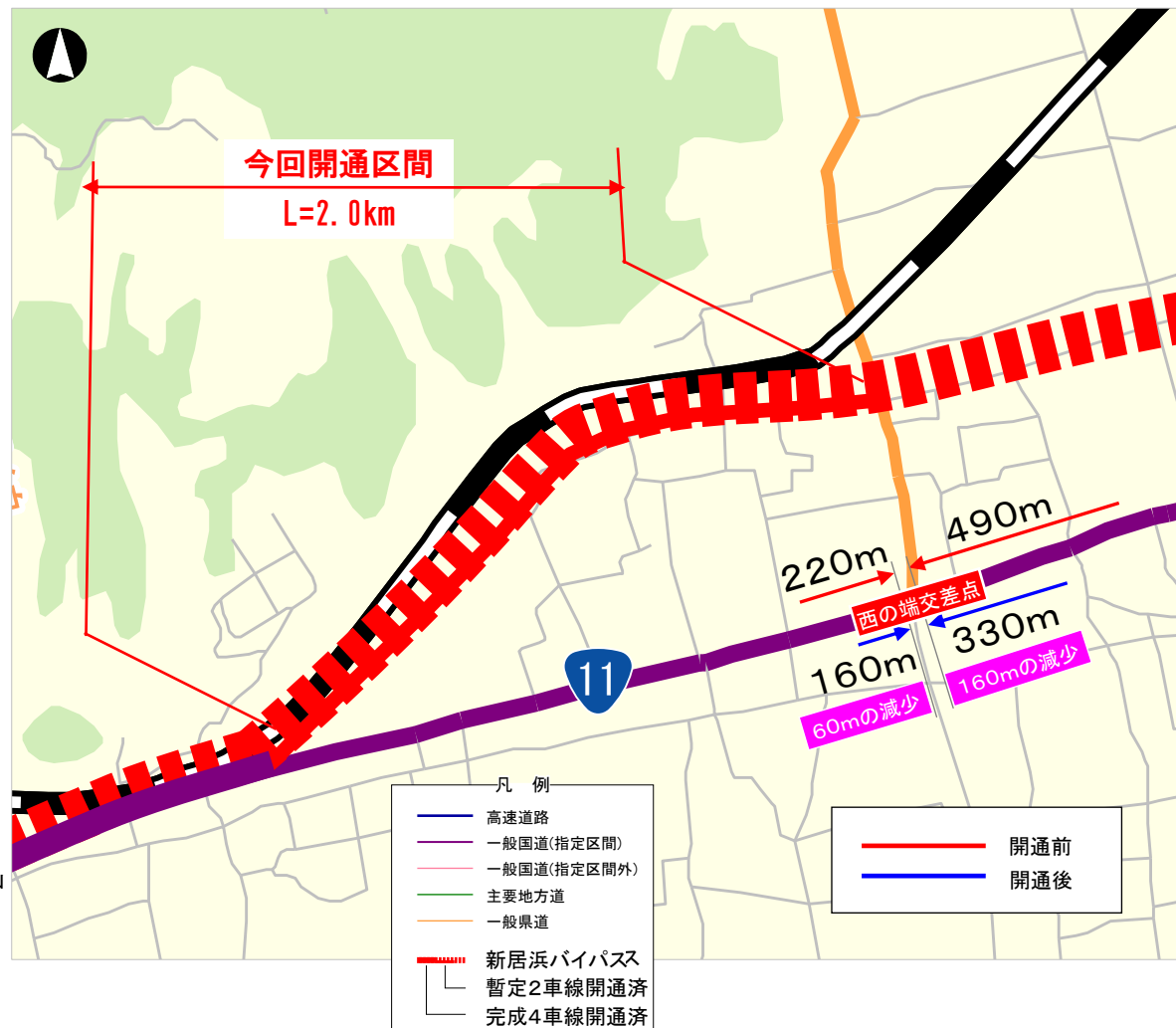
新居浜市秋生東付近

開通前交通量調査：H23.11.22(火)
開通後交通量調査：H24.3.1(木)

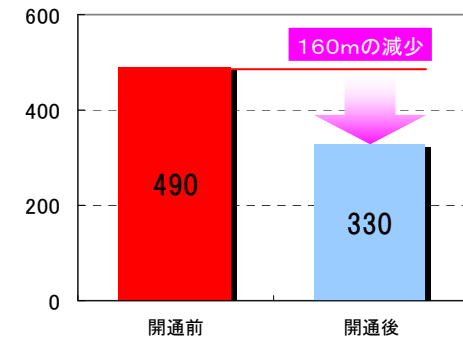
新居浜バイパスの部分開通に伴う整備効果

2. 国道11号の交通量が分散し、平日の渋滞が緩和しました。

・現国道11号の「西の端交差点」より高松方面に伸びる渋滞長が160m減少、松山方面に伸びる渋滞長が60m減少しました。

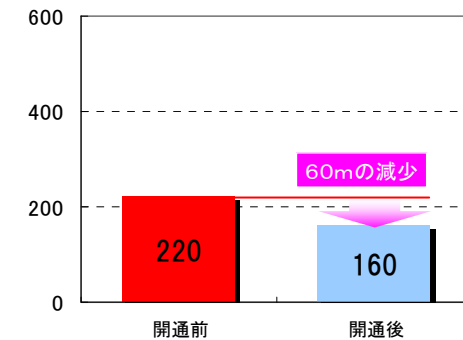


■西の端交差点から高松方面に
延びる最大渋滞長の変化



開通前渋滞長調査：H23. 11. 22 (火)
開通後渋滞長調査：H24. 3. 1 (木)

■西の端交差点から松山方面に
延びる最大渋滞長の変化



開通前渋滞長調査：H23. 11. 22 (火)
開通後渋滞長調査：H24. 3. 1 (木)

新居浜バイパスの部分開通に伴う整備効果

3. 道路利用者からバイパス開通効果が寄せられています。

夕方の混雑時などは、現道の交通量が減少したと感じる。
開通前と比べ、**現道の渋滞が減り、利用しやすくなった**と思う。

現道は道が狭く、事故が多いように感じる。

とにかく現道は混雑しやすいので、**どんどんバイパスを整備して早く完成させて欲しい。**

【一般利用者】



新居浜市西部～新居浜市中心部の救急搬送では、
新居浜バイパスが利用できるようになり、**救急搬送の移動時間が短縮**された。

救急搬送には「現場に安全に、早く到着出来ること」が最も重要なので、
混雑緩和のため、**新居浜バイパスの早期全線開通を期待している。**

【新居浜市消防本部】



新居浜バイパスを利用することで、中萩駅周辺から新居浜市中心部への**所要時間が短縮**され、
お客さんも「バイパスを使うと以前よりも早く到着するようになった」と話していた。

全線開通すれば、大幅な交通転換が予想され、
現道の混雑緩和も期待されるので、**早期の全線開通を是非お願いしたい。**

【タクシー事業者】



バイパス区間は幅員が広く、走りやすいため、
開通区間を利用するドライバーは、現道と比べて**運転の負担が軽減**したと感じている。

全線開通すれば、現道の渋滞解消も期待され、
また、走りやすい道路となるため、**全線開通に向けて事業を進めて欲しい。**

【物流事業者】

